

## 塩竈市子ども・子育て会議（平成 27 年度第 2 回）議事概要 報告書

1. 会議名	塩竈市子ども・子育て会議（平成 27 年度第 2 回）
2. 日時	平成 27 年 10 月 16 日（金） 18:30 ～ 20:30
3. 場所	塩竈市市民交流センター会議室（壺番館 5 階）
4. 出席者	<子ども・子育て会議委員> 15 名  <塩 竈 市> 7 名 健康福祉部長、子育て支援課長、子育て支援課職員 4 名

### ＜議 事 概 要＞

0. 委 嘱 状 交 付 副市長から各委員に委嘱状交付

1. 開 会 司会（子育て支援課長）

2. 挨 拶 副市長から

各委員から

会長・副会長選出

3. 議 事 議事前に資料確認後議事

(1) 報告事項

①子ども・子育て支援新制度の概要について

・資料 1 なるほどBOOKを利用し、概要説明

②新のびのび塩竈っ子プランの概要について

・資料 2 新のびのび塩竈っ子プラン（概要版）を利用し、概要説明

③教育・保育施設の入所児童について

・資料 3 を利用し、幼稚園・保育園の利用状況を報告

④塩竈ニコニコ子育て応援券の利用状況について

・資料 4 を利用し、応援券の事業概要、発送状況、利用状況について報告

(2) 協議事項

①放課後児童クラブ運営事業について

・現状の課題と平成 28 年度の運営について説明

②地域子育て支援センター事業について

・地域子育て支援センター事業の利用状況とこころんの日曜開所について説明

4. そ の 他

・平成 27 年度 児童虐待防止推進月間について説明

・次回会議は1月を予定（詳細は後日送付）

<主なご意見等の内容>

◆報告事項

③教育・保育施設の入所児童について

【議 長】10月現在の待機児童の状況はどうなっていますか。

【事務局】平成27年度より厚生労働省の待機児童の定義が変わりましたので、その定義では、0歳児で4名おります。現在も入所の問合せについては多くいただいているところですが、育児休業を延長するなどの対応をお願いしている状況にあります。

【議 長】他の年齢ではどうですか。

【事務局】定義に照らしますとおりませんが、1歳児などでは、保育所を限定した申込により入所できない方はおります。

【委 員】待機児童の定義の変更点とは。

【事務局】新制度で、新たに地域型保育事業ができたこと。

定義では、通常、育児休業の場合には待機児童に含まれないのですが、市が育児休業の延長・復職の希望などを適切に調査していることが必要となります。

【議 長】全国的に育児休業にかかる児童の取扱いで訴訟が起きておりますので、その取扱いについて課題があるところですか。

◆協議事項

①放課後児童クラブ運営事業について

【議 長】専門職員の時給は。

【事務局】時給1,200円です。

【議 長】今後、委託も検討するとのことですが、委託する場合でも職員の確保が難しいと思われそうですが、委託では、どのような点がポイントになってきますか。

【事務局】支援員は、資格・経験が必要で任用期間は最長5年、補助員は、資格の要件はありませんが、任用期間は最長3年になります。支援員等が長く勤めることは、子どもたちをより理解し、培われた経験があるため、子どもの環境として好ましいものと考えています。そのために委託によって支援員等を長期的かつ安定的に配置できるものと考えています。

【議 長】法律の変更により民間事業者が非常勤職員を5年以上雇用すると、ずっと雇用しなくてはならないように変わったと思いますが。

【事務局】労働契約法の改正によって平成25年度から、雇用期間が5年間を超えて雇用する場合、労働者の希望により有期雇用から無期雇用に変更しなくてはいけなくなっておりますが、本市では、委託事業者が、無期雇用として同じ職員を長期的に配置することを期待しています。

【委 員】委託の場合、保護者の負担がこれまで以上に増えるのでは。

また、支援が必要な児童を市では把握されているのですか。知的に問題なくとも

衝動的に動く児童などの現状をどこまで把握していますか。

現場の職員は、とても大変な思いをされていると思いますが、発達が専門の先生からアドバイスなどいただくと、職員側から保護者に発達のテストなどを受けてもらうことを勧めやすいなどあるのではないかと思います。

【事務局】保護者の負担については、これからの検討事項と考えております。

発達障害の児童については、診断の結果だけでなく、保護者の認識の問題などありますので、詳細に児童数を把握することが難しい現状です。

診断名がある児童は、各校に1割程度おりますが、その他にも診断名がない児童で特別に配慮が必要な児童が多い現状です。

現在、市では臨床心理士が年2回、各クラブを巡回し、アドバイスをしています。また、研修会を実施するなどの対応に努めております。

【委員】委託は、どのような事業所を想定していますか。

【事務局】保育や学童を対象としている民間事業者のほか、NPO法人も想定しています。

【委員】仲よしクラブの利用状況は、東日本大震災のためにニーズが増えていると考えてよろしいか。

【事務局】確かなものと断言はできませんが、復旧・復興にかかる費用を稼ぐ理由での就労希望もあると思います。

また、杉の入小学校の学区では新たな住宅が建てられるなど、住宅を購入する若い世代が多く、両親ともに就労するなどの要因も考えられます。

【委員】支援が必要な児童に対応するための連携ですが、学校と仲よしクラブで情報交換は行われているのですか。

【事務局】最近までは、特に情報交換を行っておりませんでした。情報交換の重要性を鑑み、担任の先生と話し合いの場を設けたり、開級・閉級の挨拶のときに情報交換するなど、少しずつ環境を構築しているところです。

【委員】学校側でも、情報交換の重要性を認識しています。今後、機会を増やしていくことが必要だと考えています。

【委員】対象学年を拡大したことでクラブ数を増設しているのですか。

【事務局】入級申込の状況を鑑み、杉の入小学校で1クラブ増設しています。児童のクラスの割振りは、主に学年で区別しています。

【委員】運営はうまくいっているのですか。

【事務局】支援が必要な子どものなかには、支援員を1:1で配置する必要がある児童もおります。支援員には、そのような児童への対応に悩む方が多い現状があります。

【議長】対象学年の拡大について、順次拡大していく仙台市で予想されているのは、学年が高くなるにつれて、利用率は低下し、高学年では、全体の10%程度とされています。また、利用児童も家で留守番ができないような児童が多くなるのではと予想されています。

アメリカでは、支援が必要な児童を知能テストから日常生活への適用状態で判断する方法に替わってきています。今後は、日常生活や日常行動の状態によって加配するなどの判断、対応が必要となってきますので、塩竈市でも、委託の可否

に関わらず、判断材料の一つとして検討する必要があると思われま

- 【委員】発達障害の場合に、クールダウンできる静かな部屋などあれば違うと思います。
- 【委員】私も発達障害を持っている子どもには、ちょっとだけでも、落ち着かせるスペースと時間を与えてくれればと思います。特別扱いできないと言われたら辞めざるを得ない。働いている親にとっては、放課後に預けられる場所が他にない。先生たちが、発達障害の子にもう少しケアをする、また、それを指導することが必要だと感じます。
- 【委員】専門職員は、看護師や保健師とあるが、教員はどうか。たとえば、支援学級の経験者など。  
発達障害を持つ子どもを集めて、支援学級の経験者などが保育する方法が良いのでは。
- 【事務局】学校の空きスペースをお借りして実施している事業ですので、静かな空間を別に確保するのが難しい状況ではありますが、今後の検討事項の1つと考えています。  
専門職員に教員とのことですが、支援員の資格要件の一つが教員免許となっております。現在、支援員のなかには、教員免許をお持ちの支援員もおりますが、人数は僅かです。
- 【委員】藤倉保育所に隣接しているひまわり園は塩竈市で運営されているのですか。
- 【事務局】市で開設しておりますが、現在は指定管理という運営方法で、利府町にありますさわおとの森にお願いしています。併設しているため、すぐ近くで、日頃から民間事業の柔軟さ、例えば運営時間や送迎などのサービスに驚かされているところ。残念ながら定員は10名となっており、利用が難しい状況ですので、本市でもこのような施設が増えればと考えております。  
放課後デイの活用など、様々な担い手のご協力を得ながら実施していかなければ今後の仲よしクラブの運営は難しいと考えております。
- 【委員】送迎が必要ですが、支援が必要な児童を一つの学校に集めて実施したり、ひまわり園などの施設を利用することはできないのですか。さまざまな環境が変わってきている状況なので、新しい考えがあっても良いのでは。
- 【事務局】一つの学校に集めての実施も考えられると思います。ただし、送迎や専門職員の配置が必要となります。  
また、現在では、放課後デイサービスなどの制度や施設を保護者に案内をしていますが、受入側の施設では定員などの関係で入所が厳しい状況にあります。
- 【委員】対象児童も拡大したうえで、適切な仲よしクラブを運営するため、財源確保をしっかり行って欲しい。例えば、今の看護師は時給1,200円では働きません。本気で運営を行うなら、職員の待遇をきちんと整えて行くべきです。  
仲よしクラブの予算はどのくらいなのか。
- 【事務局】今年度の当初予算では、8千万円弱程度の事業費になっております。2/3が補助金の対象となりますが、基準額に基づく算定ですので、実際は2/3もありません。また、利用料は月額3千円で、年間9百万円程度ですので、負担は1割強く

らいですが、本来の利用者負担は50%が想定されています。

【委員】ボランティアの活動状況は。

【事務局】青山学院大学の学生が夏休みに各仲よしクラブに来ていただき、勉強や遊び等で子どもたちを楽しませてくれました。また、英会話を経営されている方が月1回仲よしクラブに来ていただく予定になっています。

## ②地域子育て支援センター事業について

【委員】年末年始やお盆の時期を除く、すべての日で開館するのですか

【事務局】祝日、年末年始を除くすべての日が開館日になります。